

お茶の時間

人間すべからく頭を
使え、ウソの定義

伊佐 一二久 陸士55

「頭を使え」と言う日本人は「頭で考えろ」と思うだろうが、エジプト人は機械的に頭を使っている。

左の図のように、バスを待っている品の良い紳士がノートにメモをしようとしている。日本人なら鞆を脇の下に抱えるところであろうが、彼は鞆を頭の上に乗せている。

これなら両腕を自由に動かせるし、大抵の仕事も可能である。彼は頭に鞆を乗せて頭を使っていると結論したものである。



またエジプトの女性は右下の図のように、山のように積み上げたエイシュ（パンの一種でエジプト人の常食）のかごを頭に乗せて、上手くバ

ランスをとりながら歩いている人も
いる。

中には重いボタンガスのボンベや
電気洗濯機まで頭に乗せて巧みに運
んでいる人もいる。彼女らの首が太
く堂々としているのはそのためであ
ろうと思つてゐる。細身の女性だつ
たら不安定で不可能かもしれない。

頭に乗せると両手がまるまる見え
る利点がある。大きな荷物を頭に乘
せて、片手にバッグを下げ、片手で
子供の手をひいて歩いているのもよ
く見かける光景である。人間すべか
らく頭を使いましょう。

エジプトの人は記憶力が非常に良
い。ドライバーは地図を見せても分
からないが、ストリート名と番地を
言うときちゃんと連れて行つてくれる
し、一度行つたところは絶対に忘れ
ない。名前も一度会つただけで、次
回から挨拶の後に必ずこちらの名前
を言つてくれる。私など頭が悪くて
何度聞いても道や名前を忘れてしま
うので、恥ずかしく思つてゐる。

エジプト人は狩猟民族、あるいは
遊牧民族の子孫だから記憶力が良い
のは当然で、私たちは農耕民族だか
ら、地図や書類で覚えるのだと負け
惜しみを言つてみるが、納得する人

はいないようである。

以上、頭を使うことの違いについ
て私見を述べたが、次にウソの定義
における日本とエジプトの違いにつ
いて述べたい。

昔、「うそ」という歌謡曲が流行つ
たことがあつた。ウソにも他愛のな
い嘘、罪のない嘘、善意の嘘、悪意
の嘘といろいろある。

子供の頃、「嘘つきは泥棒の始ま
り」と言つて叱られたが、今まで嘘
をついたことのない人はいないので
なかるうか。特に、医者は患者が悪
性の癌などの場合は、真実を告げる
ことは控えて適当に説明するのが通
常である。家族には真実を告げてい
るが。

エジプトの人は約束しても実行し
ないという人がいる。確かに、「ボ
クラ(明日)来る」とか「何日まで
に仕上げる」とか約束しても、その
とおりに守らないことがある。真
面目な日本人はこれを見て、「エジ
プト人は嘘つきだ」と言つてゐるが、
エジプト人に言わせるとこれは嘘で
はない。彼らにとつて過去のことを
歪曲して言うのは嘘だが、未来のこ
とを約束しても、出来なかつたこと
は神様のご意思だから自分に責任は

ないと言う。一種の免罪符である。

日本人が文句を言うと、親が病氣
とか道が混雑したとか、もつともら
しい理由を言う。特に家族を大事に
するエジプト人にとつて、親、兄弟
姉妹が病氣と言うことは絶対的な理
由で、無断欠勤した時でも堂々と主
張している。

それで怒る日本人は、まだエジプ
ト人とは嘘の定義が異なることを理
解していないということであろうか。
もちろん、エジプト人の中にも日
本人以上に几帳面で約束をきちんと
守る人も多い。日本人の中にも約束
を守らない人がいるのと同じである。

外国人と付き合う時は、日常生活
でも長い歴史の中で育まれた考え方
の違いがあることを理解していな
いと、本当の付き合いはできない。

ここで便利な言葉、シュワイヤを
ご紹介する。これは、「少し」とか
「ゆつくり」とかという意味の言葉
で、アラビア語ができなくても便利
な言葉である。食事に招待されてお
皿にいつでももらう時も、シュワイヤ
(少し)と言つても山盛りにつがれ
て閉口したことがあつた。

「あなた、アラビア語が分かりま
すか」と聞かれて、「シュワイヤ(少
しは分かります)」とか、「少しお待ち
ください」は「イスタンナ シュ
ワイヤ」と時間にも使える。
車に乗つて徐行してほしい時、
「シュワイヤ」と言えばゆつくり走つ
てくれる。
アラビア語ができなくても知つて
いると便利なので紹介した。